



井原市の花 バンジー

井原市民病院だより

No.27

2014年5月発行

日本医療機能評価機構 病院機能評価Ver.6.0認定



地域とともに歩む、
より愛される病院を目指して

シュミレーショントレーニング in 井原 「目の前で倒れた人を助けるスキルを学びませんか？」

平成26年2月開催 井原市民病院において

主催：岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

共催：岡山大学大学院 地域医療人材養成講座/医療人キャリアセンター MUSCAT

Mission
(使命)

地域住民の尊厳を守り、命を守り、
健康増進を支援する

Vision
(将来展望)

いつでも安心してかかる、
身近で愛される急性期病院

今年のスローガン

地域と密着した
新しいステージの病院へ

Ibaraki City Hospital

井原市立井原市民病院

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地
TEL 0866-62-1133(代) FAX 0866-62-1275(代)
E-mail byoin@city.ibara.okayama.jp

診療科目

内科・循環器内科・外科・整形外科・眼科・小児科
脳神経外科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・婦人科・泌尿器科・皮膚科

発行責任者：山田 信行

就任のご挨拶

看護部長 池田 悦子



平成26年4月1日付けで看護部長に就任いたしました。紙面をもちまして皆様にごあいさつ申し上げます。

医療の高度化、対象の高齢化などにより、看護の必要性は年々高まっています。一方で診療報酬改定が行われ、医療

財政は厳しさを増すばかりの時期に大役をお受けしました。まさにこの時期に看護部長のお話をいただいて「本当に私でいいのか」「本当に大丈夫だろうか」と大いに悩みました。今もその思いに変わりはありませんが、周りのいろいろな方々のご協力をいただきながら、背伸びをせず、慌てず、私らしくひとつひとつ経験を積み重ねていこうと思います。

前任の平井副院長が、看護部の体制を着実に整

備し、多くの確実なレールを敷いて下さいました。これらに乗りさらに前進させていくことが、後任の私の役目だと考えています。今年度新卒者8名を含め10名の仲間が増えました。毎日、元気に明るく一生懸命取り組んでいる姿を見て、初心を思い出しました。新米看護部長として彼女たちと同じように勇気を奮い起こして、前進していこうと思います。

私たち看護部は、井原市民病院の使命である「地域住民の尊厳を守り、命を守り、健康増進を支援する」ことに力を尽くします。「いつでも安心してかかれる身近で愛される急性期病院」を目指します。「今、地域住民や患者さんに必要なものは何か」を感じとる感性を培い、質の高い看護が提供できるように努力します。今後とも皆様方のご指導宜しくお願いいたします。

就任のごあいさつ

消化器外科医長 中川 仁志



平成26年4月より消化器外科に赴任した中川です。平成4年に香川医大卒業後、岡山大学第一外科に入局、主に消化器外科に携わり、最近は独立行政法人国立病院機構岩国医療センターに勤務後、笠

岡市立市民病院に赴任し、今回の異動になりました。

時代は変わるもので、研修医の時に当たり前にしていたことが徐々に変わり、エビデンスも揃い、今ではやらないほうがいい、やってはいけないことも多数あります。時代に取り残されないよう日々精進したいと痛感しています。

異動のたびに患者様の年齢層は上がってきまし

たが、地元を離れたくない高齢者の方も多く、これまでの経験を生かし、院内のみならず地域の先生方とも協力して、地元で完結できる医療を目指していきたいと思っています。

微力ではありますが精一杯努力する所存でありますので、何卒宜しく御指導御鞭撻のほどお願い致します。



3月19日、テルモ副社長 松村啓史先生をお招きし、「愛と希望の現場」と題して講演が開かれ、当院職員をはじめ近隣の病院関係者の方も大勢ご参加くださいました。

先生の公演を聴講させていただくのは私自身3度目ですが、今回も笑いの中で元気をいただき、あっという間に時間が過ぎました。

経済学者である“ドラッガー”と、看護師・統計学者として有名な“ナイチンゲール”の著書より、現代の医療の現場で何が必要であるか、わかりやすく話してくださいました。

先生は仕事の本質を次の3つが重要と説かれました。

「発想」：マーケティング（目開ティング）

しっかり目を開いて現場を観察し、オンラインの価値を見出すこと

「行動」：マネージメント（真似地面ト）

仕事の整理整頓（5S）、いらぬものを捨てて新しい価値を生み出す

「気持ち」：リーダーシップ（リーダー湿布）

人のやる気を引き出す 愛情と愛嬌を持って声かけし元気を与える 自分を好きになること

今、医療を取り巻く現場は、超高齢化社会を目前に、在宅へ移行するように動いています。地域の中核病院である当院でも大きな変革の時期を迎えています。現場の職員はこの大きな難局に立ち向かうべく、「大変！」と奔走しています。大変＝大きく変わるチャンスと捉え、多職種・多領域で力をあわせ、チーム一丸となって笑顔で乗り越えていきたいです。

当院の使命は、市民の尊厳・命を守り、健康を増進することです。使命を果たせたとき私たちはやりがいを感じ、「幸せ」を実感します。「辛く」くじけそうになったとき、松村先生の言葉「The Best Place For Each is Where He Stands!」（今いる場所が、自分の最高の戦いの場）を思い出し、前向きに頑張（顔晴）ろうと思います。



ICTオープンカンファレンス開催

感染管理認定看護師 柳本亜由美



近年、院内感染対策は患者様に安全で安心した医療を提供するために非常に重要な位置づけとなっています。当院でも院内感染対策チーム（以下、ICT）を組織し、様々な感染症から患者・家族・職員を守るために活動しております。しかし、個々の施設では対応に限界がある場合も多く、地域医療全体における連携の重要性が求められています。

この度、地域医療圏内の皆様と感染対策に関する

情報共有・啓発を目的とし4月24日に特定非営利活動法人日本感染管理支援協会理事長・土井英史先生をお招きし「全職員で取り組む感染対策」をテーマにICTオープンカンファレンスを開催いたしました。感染対策の基本や手指消毒の重要性等を非常にわかりやすく説明していただけたと思います。

今後も地域医療全体における感染対策向上を目的とし、定期的にオープンカンファレンスを開催したいと考えております。また、日常の感染対策について分からない事がありましたら、当院のICTまでご相談ください。



新人の紹介

名前 担当科 ①抱負 ②趣味・特技



今井 頌恵 (管理栄養士) 栄養科
 ①病院栄養士としては1からのスタートなので、不安もありますが、日々勉強し、1日も早く必要とされる存在になれるように頑張りたいと思います。
 ②菓子作り



中倉 弥子 (看護師) 3階病棟
 ①一所懸命 忍耐と根性
 ②音楽鑑賞 (J-pop)、イラストを描くこと



山室 文子 (管理栄養士) 栄養科
 ①今までの経験を活かし、患者様の身近に感じていただける管理栄養士になれるよう、病棟訪問や栄養指導など頑張りたいと思います。
 ②お菓子作り・バドミントン



羽手原 志穂 (看護師) 3階病棟
 ①日々精進で頑張ります。
 ②スノーボード
 よろしくお祈りします。



永見 芳子 (社会福祉士) 地域医療連携室
 ①患者さんが安心して生活できるように、院内のスタッフや地域の方々と連携しながら支援していきたいです。井原での相談支援は初めてですがよろしくお願いいたします。
 ②水泳



定光千華子 (看護師) 3階病棟
 ①患者様が安心して治療ができるよう看護技術、コミュニケーション能力を磨き、自己啓発していきたいです。
 ②ソフトボール



明田 徹 (薬剤師) 薬剤科
 ①これまでも病院薬剤師として勤務してきました。より安全かつ良質な医療を提供するため、薬剤師として薬物療法の有効性と安全性の確保に努めていきたいです。
 ②ボウリング (3月1日付採用)



山下 恭子 (看護師) 4階病棟
 ①一日も早く病棟の看護師さんの様に患者様やご家族の皆様に気軽に声をかけてもらえる看護師になりたいです。
 ②温泉旅行、スーパー銭湯巡り



三好 啓太 (臨床検査技師) 臨床検査科
 ①毎日1つでも多くのことを学び、吸収できるよう頑張ります。
 ②ツーリング
 野球 (高校までやりました)
 プロ野球観戦 (生涯カープファン)



吉田 祐也 (看護師) 4階病棟
 ①4月より入職し4階病棟へ配属されました。3月まで福山の病院で勤務していました。当院は男性看護師が少ないため、患者様・御家族の方より注目されると思いますので、頼りにされる看護師になりたいです。前職のキャリアを活かすとともに看護師を志した時の「忙しい時ほど笑顔で優しい看護師」をモットーに初心に戻り頑張っていきたいです。
 ②車・ドライブ



小林みさき (臨床検査技師) 臨床検査科
 ①迅速・正確・丁寧な検査を心がけ、地域医療に貢献出来るよう日々精進します。
 ②恐竜検定3級、ルービックキューブ (1月1日付採用)



谷 知佐子 (看護師) 4階病棟
 ①生まれ育った井原で、看護師を始めました。自分が看護されたい看護師になろうと思います。よろしくお願いいたします。
 ②趣味は旅です。ゆとりがあれば、海外に出かけたいです。



神田 裕一 (理学療法士) リハビリテーション科
 ①みなさんにご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。
 ②子供と遊ぶこと、家庭菜園



山下 弘恵 (看護師) 外来
 ①私は隣の神辺で生まれ育ったのですが、井原の事はよく知らないのこれから仕事の事はもちろん井原の事を知りたいです。いい情報があれば教えてください。
 ②最近スポーツクラブに入会しプールやジムで身体を動かすことにはまっています。



川崎かおり (看護師) 3階病棟
 ①日々前進
 ②買い物をする事



中山 直美 (看護師) 5階病棟
 ①患者さんの声に耳を傾け、いつも笑顔で心に寄り添う看護ができるようになりたいです。
 ②趣味はウィンドーショッピングで、洋服や雑貨などを見に行くのが好きです。
 特技は・・・人間観察！！ 1日中できます・・・



藤岡 直実（看護師）

5階病棟

①日々勉強していき、患者様にとってよい看護ができるよう頑張ります。よろしくお願いします。

②ウォーキング ハムスターと遊ぶこと



橘 美由紀（看護師）

①曖昧な知識と技術な為、迷惑をかけてしまうと思いますが、早く病院のルールになれて一職員として力になっていきたいとおもいます。

②実家の犬と遊ぶことです。



4月1日（火）、新採用職員にかかる辞令交付式が行われました。本年度は中川消化器外科医長のほか、看護師11名、コ・メディカル4名、社会福祉士1名の17名に山田院長から一人一人に辞令書が交付され、今年の病院のスローガンと小規模病院ではチーム医療が重要である旨の訓示がありました。

その後、新採用職員からサービスの宣誓が行われ、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務に従事することを誓いました。

地域包括ケア病床（25床）等を届出

今年4月は2年に一度の診療報酬改定が行われました。今回の改定は、厚生労働省が描く2025年の地域包括ケアシステム構築に向けて、前回改定に続く第2段であり、重点課題としての『医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実』を推し進める内容となっています。当院も改定の趣旨を踏まえ、さらなる病・診、病・病連携を図り、地域医療のニーズに応えるべく、5月1日に一般病床のうち25床について地域包括ケ

ア病床の届出を行いました。急性期医療からの受け皿と在宅医療での緊急患者の受入、また、在宅復帰支援の役割等に努めて参ります。療養病棟（医療型）についても、改定時に在宅復帰機能強化加算の届出を行い、その役割も強化していくこととしています。

今後とも、皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。



病院の日・看護の日



毎年5月12日は『病院の日・看護の日』です。看護の日はナイチンゲールの誕生日に由来し、平成4年に厚生省（当時）が制定。また、岡山県では昭和27年にこの日を『病院の日』と制定し、現在では色々な催しがなされています。

当院においては、勤続15年の職員表彰が行われ、3名の職員に山田院長から表彰と記念品が贈られ、永年勤続に対する労いとお祝いの挨拶があり、続いて職員から『今後も引き続き地域医療に貢献し頑張りたい』との謝辞が述べられました。（表彰された方々は次のとおり）

眼科医長 岸本典子
主任看護師 飯島芳枝
看護師 妹尾正子

また、午前中は外来ホールにおいて、健康チェック（血圧・検尿・血糖測定等）、転倒予防チェック、健康・栄養相談などを行い、受診で来院された患者さまや家族など多くの市民の方に参加していただきました。





岡山大学医学科 4年生 **白川 拓**

この度、大学の地域医療実習として井原市民病院にお世話になりました。訪問診療、患者向け糖尿病教室など大学病院ではなかなか見られないイベントを見学できたことが一番印象に残っています。従来の医療活動では医師がトップに立ち他の職種の人たちに指示を出すシステムがあったようですが、今回の実習ではそうした医療活動ではなく、山田院長が仰っていたような患者を中心とした多職種連携チーム医療を見ることができました。私は将来医師となる立場ですが、医師として現場に出た際にはこうした多職種連携を意識して協力型の医療を行っていきたいと思いました。今まで大学病院しか見学していなかった身としては大変勉強になりました。また実習中に問診もとらせて頂きましたが、実際の患者さんへの問診は今回が初めてで大変緊張しましたが、その分良い体験ができたと思っています。

1週間という短い期間でしたがたくさんのことを学ぶことができました。本実習にご協力いただいた井原市民病院のスタッフの方々や患者さんには大変感謝しています。ありがとうございました。

岡山大学医学科 4年生 **堀川 恭佑**

このたびは地域医療体験実習として1週間受け入れてくださりありがとうございました。私にとって初めての病院実習であり、また医学知識が乏しい状態だったので、迷惑をおかけしたことも多々ありました。しかし、病院の先生方やスタッフの方のおかげもあり、多くの科を回らせていただくことができました。実際

の診察を見学させていただいたり、診察の合間で先生方が私たちにわかりやすく疾患について解説してくださったりしました。時には診察の補助をさせていただけたのは、普段の大学での勉強では経験できないことなので嬉しかったです。また、井原市民病院ではチーム医療や訪問診療が積極的に行われており、地域の中核病院としてどのような医療を提供しているのかを勉強することができました。

今回の実習は、これから私はどのような医師を目指していけばいいのかを考える良いきっかけとなりました。このような機会を与えてくださいました井原市民病院の皆様にご場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

岡山大学医学科 4年 **永木 瑞穂**

井原市民病院の先生方、看護師の方々、スタッフの方々、今回、お忙しい中、実習に参加させていただきありがとうございました。今回実習に参加させていただいて、診察の見学や、胃カメラ、エコーなどの検査の見学をし、また、医師の方、看護師の方、患者さん、地域医療連携室の方とお話しをすることができました。

問診では、患者さんに一方的に質問するのではなく、患者さんに対して傾聴することで、患者さんにとって治療の環境がよくなると感じました。また、どのようにしたら、患者さんに病気のことを理解してもらえるか、治療に前向きになってもらえるか、説明することの大切さについても考える機会となりました。

さらに、さまざまな職種を見学し、将来、チーム医療の一員として、それぞれの専門の方とお互いに理解し、連携を取り、また、リーダーシップをとることが重要になってくると感じました。

井原市民病院では、訪問診療、NSTの体制があり、お年寄りの患者の多い地域医療において、患者さんに寄り添う環境が整っていると感じました。大学では、学ぶことができない、地域の特性を学ぶことができました。

今回、とても充実した実習になりました。本当にありがとうございました。

平成25年度BSC取り組み結果発表会

平成23年度から取り組んでいるBSC（バランス・スコア・カード）活動の平成25年度の各部門の結果発表会を5月1日（木）と14日（水）の2回に分けて開催しました。山田院長からは、3回目となり各部門の発表内容も充実してきた。医療を取り巻く状況は今後ますます厳しくなり、引き続きBSC活動に取り組み、医療の質の向上と健全な病院経営基盤の確立が重要である。医業収支率で100%を目指し、また平

成26年度のスローガンである『地域に密着した新しいステージの病院へ』に取り組むよう指示がありました。



まいづる保育園だより

「新入園児の紹介」



スタートとなりました。

今回は新入園児の3名を紹介いたします。

最初に笠原百代ちゃん。4月で1歳のお誕生日を迎え、新入園児の中で一番のお姉ちゃんになりました。歩くことが大好きで興味のある物や場所へ行き、楽しそうにお散歩しています。

次に細川凜ちゃん。とても活発な女の子で、気になったおもちゃを見つけるとそちらへ一目散。お友達のものにも興味を示し、輪の中に入って楽しんでます。笑顔がとても可愛い凜ちゃんです。

最後に柴田結菜ちゃん。保育園の中で一番小さいお友達です。最近ハイハイができるようになり、動くことが楽しいようでいろいろな物に手を伸ばしていま

昨年度は20名が在籍しており、そのうちの12名が卒園しました。そして平成26年4月から新しく3名が入園し、11名からの

す。そしておしゃべりも大好きで、大きな声でお話している結菜ちゃんです。



「リトミック」

毎週金曜日は、外部の先生をお招きしてリトミックをしています。

リトミックとは、身体の運動でリズムを体現し、音楽を聴覚だけのものとせず、身体（筋肉）活動と精神（頭脳）活動を統合した音楽表現を目指し、人間活動における感覚・意識・行動の調和と発展をはかる音楽教育の一方法です。

保育園の子供達はリトミックの時間が大好きで、リトミック当日の朝は「今日、リトミックある？」などと保育士に聞く子がほとんどです。

昨年より園児の人数が減った為、お部屋の中がとても広くなり子供達も広々としたお部屋の中を楽しそうに歩いたり、走ったりしてしっかりと体を動かしています。



甦ったしだれ桜

事務部長 野崎 正広

皆さんは、病院正面の駐車場中央にあるしだれ桜をご存じでしょうか。

桜の花は1週間程度しか楽しめないのを見過ごしている方も多いかと思います。まして、ここ数年間、開花していなかったのですから無理ありません。

しかし、今春、見事に復活し、来院者の目を楽しませてくれました。（写真）

このしだれ桜は、当院が開設した昭和38年5月に記念植樹されたものであり、昨年は開設50周年を迎えこの桜も半世紀にわたり病院とともに歩み、病院を見つめてきていました。平成16年に病院更新築工事完成に伴い現在の場所に移植されたわけですが、駐車

場のアスファルトの真ん中で、暑さ、寒さに耐えきれず、休眠状態が続いていました。手当の甲斐あってか、今年3月24日には開花、見事に甦りました。病院玄関側から見ると、山田院長曰く『鳥が飛び立つように見える』とのこと。医療を取り巻く状況が大きく変わるなか、病院も51年目を迎え、まさしく新たな飛躍の年となるよう職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



糖尿病教室の紹介

当院では、糖尿病教室を毎月さまざまな内容で開催しています。

日 時：第2・4水曜日、11:00～

場 所：病院玄関ロビー

糖尿病食の試食（400円）ご希望の方は2日前までに申し込み必要。

食事不要の方は、事前予約不要です。

月 日	内 容	担 当
6月11日	糖尿病のお薬	薬剤師
6月25日	合併症について	看護師
7月 9日	未定	理学療法士
7月23日	未定	視能訓練士

糖尿病食の試食



平成26年度健康教室（予定）

今年度のテーマは「呼吸は大事」で、呼吸リハビリテーションチームが担当し、下記の内容で健康教室を開催いたします。

日 時：毎月第3水曜日、11:30～12:00

場 所：病院玄関ロビー

費 用：無料

開催日	タイトル
6月18日	在宅酸素療法について
7月16日	日常生活の工夫と息切れの管理
8月20日	呼吸機能検査について
9月17日	画像でわかる呼吸器の病気
10月15日	予防注射を受けよう
11月19日	憎悪の予防・早期対応
1月21日	たばこの健康に対する影響
2月18日	福祉サービスの活用
3月18日	COPD患者の栄養管理

夕方の挨拶

あべ こうぞう

突然ですが、みなさんは夕方の挨拶は何とおっしゃっていますか。
 私の住んでいる辺りでは、この問いに相応しい挨拶の言葉があります。きっとみなさんの処も同じかも知れません。
 「あーそうそう！」となるでしょう。
 それは「お疲れでしょう！」という挨拶です。
 何と妙を得て素晴らしい言葉だと思いませんか！ 今日一日よく働いたのでお互い「お疲れ様」なんですよね。
 東京に居る孫が田舎に来た折に聞いて、感心して帰ったことがあります。東京に帰ったら使おうと言ってましたが、
 高学年になった今ではどうしているやら、きっと使っていないのでしょうか、忘れてしまったのかも知れません。
 都会化して、利便性が故の、こせこせした毎日、車社会ではお互い挨拶を交わすことも少なくなっているように感じています。みなさんはどうでしょうか。
 挨拶が今日一日の始まりであり、今日1日のお終いでもあります。家族で、学校で、職場で、その行く途中や先々での挨拶が人間同士に繋がり始める始まりではないでしょうか。絆の始まりはまず挨拶から！ どうぞみなさん 朝・昼・晩の挨拶をしましょうよ。

せこせこと